

# おすすめ砂丘マップ 秋編

長かった酷暑もようやく一段落！砂丘内を吹く涼しい秋風が砂のアートをつくりだします。



オアシスの正体は雨水。雨が少ない夏期は干上がっていますが、晩秋にはまたオアシスが出現します。

馬の背までは往復約25分

時間が無い方はコチラ！30分コース

じっくり60分コース START

## 秋は風紋が見られるチャンス！

別名「砂のさざ波」とも言われる波状の縞模様。砂丘を紹介するパンフレットや旅行本には必ずと言っていいほど、きれいな風紋の写真が掲載されているので、風紋の存在を知っている方は多く、「風紋を目当てに砂丘に来ました。」という観光客の方が沢山います。涼しい風が吹く秋は、風紋が見られるチャンスが多くなります。

### Q.1 風紋ができるにはどんな条件が必要？

- A. 風紋ができるには、4つの条件が必要とされています。
- ・その1：砂を動かす適度な風(風速が毎秒5m～10m)が吹く。
  - ・その2：砂がよく乾いている。
  - ・その3：砂が固まっていない。
  - ・その4：砂の粒の大きさが揃っている。
- これらの条件が揃うと、風紋が形成されます。

### Q.2 きれいな風紋を見るには？

- A. 早朝がオススメ！
- 足跡がついていないきれいな風紋を見たいのならば、まだ人がいない早朝がオススメです。上の地図の「風紋ができやすいところ」を参考に、風紋探しをしてみてくださいね♪

### どんな風紋に出会えるかな？

風の強さ、風向き、砂粒の大きさなどで、風紋の高さや幅、周期などが決まります。また、時間とともに風紋は風下側にゆっくりと移動するので、模様が変わります。さあ、どんな風紋に出会えるのでしょうか？



## 他にも砂のアートが沢山！

湿った砂に強い風が吹くと、風通しの良い場所から砂が乾いていくので、このようなしま模様ができます。

雨が降った後、複数の層が堆積していたところに強い風が吹いて削られると、このような面白い形ができます。

**砂柱**  
湿った砂に、風速毎秒12m以上の強い風が吹くと形成されます。

**砂簾**  
雨で濡れた砂が積み重なり、砂が乾くと砂が一気に斜面を滑り落ちて、この模様ができます。まるで簾のようです。

こちらは砂柱に貝が乗ってます！

風の強弱によって砂粒の大きいもの、大小入り混じったものが交互に堆積し、雨水で小さい砂粒を含む部分が硬く固まります。こうして複数の層が形成され、その後の強風(毎秒10m以上)により砂が少しずつ剥がれてこの状態になります。

# 砂丘の秋を彩る植物

※砂丘内での動植物の採取は禁止されています。ルールを守って下さいね！

## ハマゴウの夏の姿



秋になると・・・

## ハマゴウの秋の姿



ハマゴウは、秋には実をつけます。直径5mmほどで黒い色をしています。乾燥させて漢方薬としても使われます。

## ハマニガナ



春と秋の2回、黄色い花をつけます。ひとつひとつ単独の株に見えますが、地下茎が砂の中を這うように横に広がっていて、株同士が繋がっています。茎や葉をちぎると白く苦い液が出る特徴から「浜の苦菜」→ハマニガナというのが名前の由来のようです。

## ウンラン



花期は8月～10月で、クリーム色の花を咲かせ、海辺に咲く蘭に似ていることから、「海蘭」と名前が付けました。

## コウボウムギの春の姿



秋になると・・・

花期は4月～5月。雌雄異株でオスは茶色い穂、メスは緑の穂で白い花をつけます。トゲのように尖った地下茎を伸ばして群落を広げます。

## コウボウムギの秋の姿



コウボウムギは秋になると、雌花の穂に黒褐色の実ができます。写真はその実が落ちて、砂の上に集まっています。

## ハマベノギク



砂丘植物の中では最後に薄紫色の花をつけるハマベノギク。9月から10月末にかけて見ごろを迎えます。鳥取砂丘では海岸部の一部に分布するといわれています。

## 見つけることができたならラッキー！？



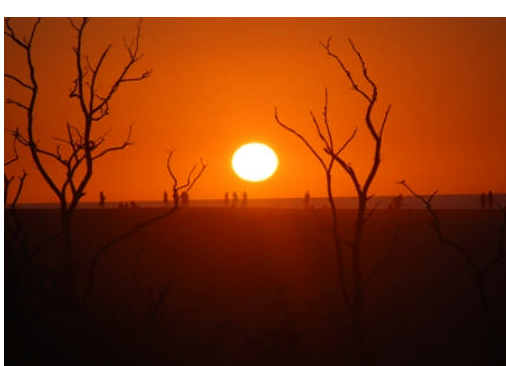
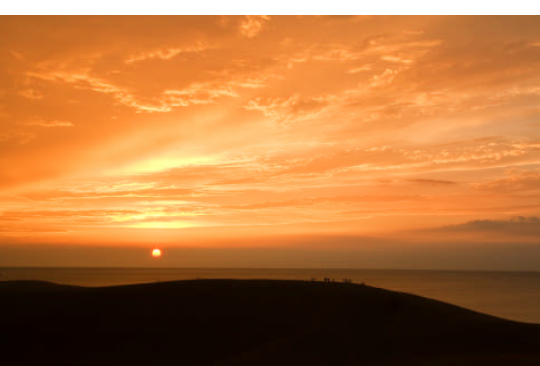
通常ハマベノギクの花は薄紫色なのですが、その中に白い花をつけるハマベノギクがあります。白い花は貴重でまれにしか見られないので、見つけることができたならラッキーかも♪

## 秋を感じさせる鳴き声♪ ハマスズ



体長7mmほどの小さなコオロギ。全身灰白色の地色に暗褐色斑が複雑に点在した模様で、砂の色とそっくりです！海浜植物の陰や砂塚のがれた壁に巣穴を掘って、オスは6月から秋にメスへの求愛として「ジーチチチ、ジーチチチ」と鳴きます。オアシス付近で耳を澄ませば、鳴き声が聞こえる時がありますよ！

## 夕刻もオススメです



鳥取砂丘は日本海に面しているのですが、夕刻には美しい夕陽が日本海に沈んでいく風景を楽しめます！！夕刻になると、夕陽を見に来たグループや、美しい夕陽の写真を撮りに来たカメラマンの方が砂丘に集まります。夕刻の鳥取砂丘は日中とはまた違った魅力がありますよ！

## 10月下旬になると・・・

鳥取県を代表する特産物、らっきょう。鳥取砂丘の東側には広大ならっきょう畑が広がっています。10月末には赤紫色のらっきょうの花が一面に咲き、その様子は「砂丘のラベンダー」とも呼ばれます☆鳥取砂丘から少し足をのばして、らっきょう畑にも行って下さいね。

